



2026年4月発行



### 特集「なばりのきらきらウーマン」

うちし あきこ

第36回 新日本婦人の会 名張支部 支部長 内橋 晃子 さん

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第36回は、新日本婦人の会 名張支部の支部長として、「生きやすい社会へ」の活動を続けてきた内橋晃子さん。これまでのご苦労もありながら、ゆったりと朗らかな人柄が印象的でした。(インタビューの内容はこちらです)

4月  
から

## 「こども誰でも通園制度」



始まるよ～

すべてのこどもの育ちを応援することを目的とした新しい通園制度が始まりました。保護者の就労などの理由がなくても、月に10時間まで利用できます。

保護者の仕事や病気などで一時的に保育が必要な時には、これまで同様「一時預かり」の申し込みが可能です。詳しくは名張市ホームページへ。



名張市  
ホームページ

対象者	保育所(園)・幼稚園・こども園などを利用していない0歳6カ月から満3歳未満のこども
利用時間	1カ月に10時間まで、時間単位で利用可能
実施施設	市内9カ所…名張市のホームページでご確認を
利用料	こども1人あたり1時間300円 ※おやつ・食事代別途
利用方法	専用システムに登録→希望施設で面談→利用開始



※初回は  
面談が必要



同じ年が3の  
子たちと  
遊べるね

### 名張市男女共同参画センター

三重県名張市希央台5番町19番地  
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp  
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」  
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



男女共同参画  
センター

近鉄名張駅東口より  
桔梗が丘方面へ約300m

# 多様な個性と能力が発揮できる職場に

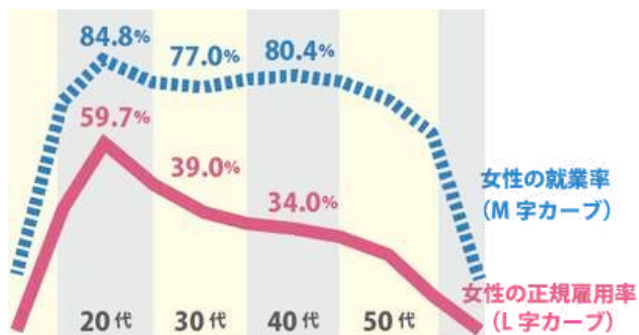
## 女性活躍推進法の改正ポイント

4月から

結婚や出産、介護など、人生の節目で「このまま働き続けられるだろうか」と悩んだ経験のある人も多いのではないのでしょうか。ライフステージが変わっても、自分らしく仕事と向き合い、働き続けられる環境が必要です。女性を含む多様な人材が活躍できることは、企業の成長や社会全体の活力にもつながります。このことから、10年間の時限立法として2016年4月に施行された女性活躍推進法が10年間延長され、法改正されました。改正のポイントをご紹介します。

### 女性活躍推進法改正の背景

#### ●ライフステージが女性の就業に影響



令和4年 内閣府説明資料より

#### ●管理職の女性割合が低い現状

日本の就業者の45.2%が女性（諸外国と同水準）ですが、管理職になると14.6%にとどまります。

管理職に  
占める  
女性割合

米・英・仏など先進国  
30%以上

日本  
14.6%

### 4月から何が変わるの？

#### ●男女間賃金差異・女性管理職比率などの公表

従業員数301人以上の企業から101人以上の企業へ公表義務の範囲が広がります。

#### ●職場における女性の健康支援を明確化

生理休暇を取りやすく／女性の健康上の特性に配慮して休暇や柔軟な働き方制度を／健康相談窓口の設置／婦人科検診の受診支援など

#### ●ハラスメント対策の強化

法律の基本方針に、ハラスメント対策が位置付けられました。

「女性の活躍推進企業  
データベース」



女性が活躍できるかどうかは、すべての人にとって、働きやすさの目安になるんじゃないかな！

参考資料：男女共同参画白書 令和6年版、WEBサイト「厚生労働省WEB MAGAZINE」「CHR」

## 私が選ぶ、私の未来 SRHRを学ぼう

2月14日、自分らしく生きる上で欠かせない基本的人権であるSRHR（性と生殖に関する健康と権利）について学ぶ機会として、講座を開催し、10人の市民が参加しました。

講師の關まり子さん（公益財団法人ジョイセフ プログラムオフィサー）は、SRHRとは何か？の説明のあと、SRHRに含まれる多様なテーマの中から「パートナーシップ」「避妊」「性教育」について話されました。カードを使ったグループワークも行い、参加者が体験や考えを交流しました。

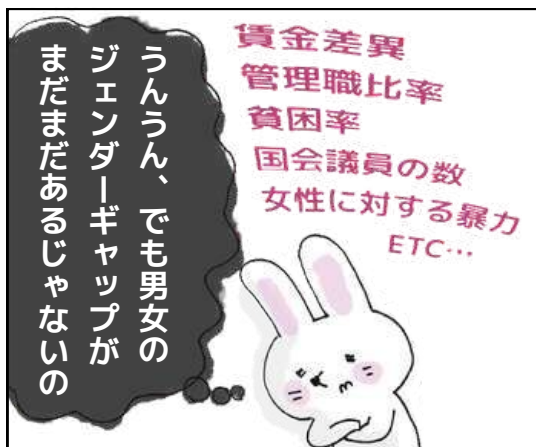


開催  
しました！

#### 〈参加者の感想より〉

- SRHRを初めて知った。分かりやすかった。
- 生きていくために必要だと思った。周りにも知らせたい。
- 包括的性教育の大切さがよく分かった。
- 性的同意のとりかたの話が興味深かった。若い人へどんどん啓発してほしい。
- SRHRは女性のためのものというイメージでした。男性のSRHRという視点の大切さも知りました。日本はまだまだ性の権利については遅れていますが、学びを深めたいと思います。本当にありがとうございました。

### 「男女」共同参画なのか問題



今回は「男女共同参画」という言葉そのものについてのモヤモヤです。このつうしんでも、いろいろな性について取り上げてきましたが、「男女共同参画」の名前が多様性を排除しているように感じる人がいるのでは?という心配があります。

一方で、ジェンダーギャップの解消は遅々とした歩

みで道半ばです。これはこれで進めていくことが本当に大切です。また、多様性の尊重は男女共同参画の意義そのものです。いろいろと考えていくと実はたくさんのがつながついていて、「すべての個人が尊重される」ということに尽きるのだと思います。そのための男女共同参画を、一緒に進めていきましょう!

## つうしん138号アンケート

抽選で2名様に  
図書カード  
1000円分 進呈

- 参考になった記事をお答えください (複数回答可)
  - ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」
  - ⑤ こども誰でも通園制度
  - ⑥ 女性活躍推進法の改正ポイント
  - ⑦ 「私が選ぶ 私の未来 SRHRを学ぼう」報告
  - ⑧ モヤモヤ委員会⑨ ⑩ 相談日程
  - ⑪ 参考になった記事はなかった
- 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか? (複数回答可)
  - ⑫ 選択的夫婦別姓
  - ⑬ ジェンダー視点の防災 ⑭ その他 ( )
- 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- 138号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、「〇号アンケート」と明記の上、下記の宛先へお送りください。(送料等をご負担ください)

WEBで回答



メールで回答



WEB <https://forms.gle/b4GsMFhYGpXqNgKt6>  
 メール danjo-center@emachi-nabari.jp  
 郵 送 〒518-0775 名張市希中央5-19  
 名張市男女共同参画センター宛  
 FAX 0595-63-5326

**応募締切:6/10(水) (必着)**

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

### 編集後記

新年度、学ぶ場所や働き方が変わる人も多いのではないのでしょうか。今回のつうしん記事をまとめながら考えたのは、「自分が選んだ」と思っても、周りの状況やちょっとした思い込みなどで「選ばされている」ことも多いのではないかということです。選択肢がそれしかない状況って、人生にありますか? 「本当は進学したかった」「仕事を諦めなくなかった」「もっと長く子どもと過ごしたいけど働かないと」などなど。人生は複雑で「塞翁が馬」とはいえ、できるだけ、みんなが自分らしい選択ができ、その人の選択が尊重される世の中に。そう願う春です。



# 相談日程

名張市男女共同参画センター

5月  
2026

日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336					1 ☆ 女性のための相談 13:00~16:00	2
					3	4 休館日
10	11 休館日	12 人権相談 13:30~16:00	13 女性のための相談 9:00~12:00	14	15 女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	16
17	18 休館日	19 人権相談 13:30~16:00	20 女性のための相談 9:00~12:00	21	22 女性のための相談 13:00~16:00	23
24	25	26	27	28	29	30
31	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	

☆女性弁護士による法律相談は、都合により15日(金)になります。★6日(水)の女性相談は、祝日のため休みです。

6月  
2026

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 人権相談 10:00~15:00	3 女性のための相談 9:00~12:00	4	5 女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	6
7	8 休館日	9	10 女性のための相談 9:00~12:00	11	12 女性のための相談 13:00~16:00	13
14	15 休館日	16 人権相談 13:30~16:00	17 女性のための相談 9:00~12:00	18	19 女性のための相談 13:00~16:00	20
21	22 休館日	23 メンタルヘルス相談 13:00~16:00	24 女性のための相談 9:00~12:00	25	26 女性のための相談 13:00~16:00	27
28	29 休館日	30	●予約電話 63-5336			



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00 ~ 14:00



メンタルヘルス相談

要予約

面談

毎月第4火曜日 13:00 ~ 16:00



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00 ~ 12:00 ※祝日の場合は  
毎週金曜日 13:00 ~ 16:00 お休みです



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター  
(63-0018) へお問い合わせください。

Special  
interview  
36

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。  
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。  
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

うちやし あきこ  
内橋 晃子 さん

新日本婦人の会 名張支部  
支部長

profile

大阪府出身で元中学校教諭。親の介護を考えて名張へ転居。  
新日本婦人の会名張支部の支部長として33年活動してきた。  
名張市男女共同参画推進ネットワーク会議の副会長を12年  
務めた。現在は学校生活支援のボランティアもしている。



人々の  
生きやすさを  
求めて

活動のきっかけや内容について  
教えてください。

新婚当初、奈良県生駒市に家を建て、しばらくすると夫の両親と同居することになりました。良いところなのですが、山の起伏が多く、階段のある家でした。子どもが生まれてすぐに実母が、次に義母が倒れ、介護と子育てのダブルケア生活に。そんな時、近所に5人のお子さんを個性豊かに育てている、信頼していた方の誘いで入会したのが新日本婦人の会（新婦人）です。平塚らいてうやいわさきちひろなどの呼びかけで1962年に設立。国連NGOで、「新婦人しんぶん」を月3回発行するエネルギーあふれる団体です。全国に支部があり、入会当時は、「親子リズム」「奈良公園冒険」「和太鼓」など、楽しい企画が生活の

支えになり、のびのびと子育てをする仲間のネットワークができました。

当時は介護保険制度もまだなく、夫の仕事の関係で、ワンオペ育児・介護の日々。3人目がお腹の中にいる頃は、大阪の病院に子ども連れで通うのに苦労しました。家族みんながいっぱいいっぱいの生活でした。

その後、介護のために、駅まで徒歩圏内の平坦地を探して名張へ。厳しい毎日も、新婦人の仲間たちが、手伝えることはないかと常に気遣ってくれたおかげで乗り越えられました。会の活動があったことで、生活の中でめざすところが明らかになり、介護と育児への心のバランスが整いました。ここに私の原点があります。



## 活動をする中で得たこと、 やりがいや喜びを教えてください。



班会では食卓を囲みます

名張支部では、「何より平和」を中心に据え、核兵器をなくすための署名集めを長年続けています。支部には5つの班があり、集まっておしゃべりや学習会などに取り組んでいます。サークル活動では、和服のリフォーム・一緒に体操・寺子屋・絵手紙など、いきいき元気に楽しんでいます。今では、一人暮らしや高齢の方の見守りも大切になってきました。

女性が力を発揮することは、「人々の生きやすさを創造する」ことです。日常の悩み・困りごとや不満は社会の中での出来事、つまり、政治とかかわっています。最近うれしかったのは、名張にお産ができる病院がなくなって大変！と、若い世代の会員がwebアンケートや行政交渉に取り組んだことです。政治離れが言われて久しいですが、「政治は生活そのもの」と行動に移せる次世代の成長がまぶしく、頼もしく思います。

また、同じ悩みを共有し、「さあ、どうしよう！」と挑戦する仲間との繋がりが心強いです。名張で活動を続けてこられたのも、私の横で、人の悩みを自分のことのように心から心配し涙を流してくれる仲間がいたからです。良いときも悪いときも変わらず寄り添い続ける優しさと、しんどいことも諦めず続ける粘り強さをもった仲間がいることが私の喜びです。

## これからも大切にしたいことや みなさんへのメッセージをお願いします。

世の中には、気候危機や世界情勢など大きなことから、健康や経済的な問題などの身近なことまで、不安がいっぱいです。だからこそ、日々の課題の一つひとつ丁寧に向き合い、今自分にできること・やりたいことをやっていくことが大切だと思います。

私たちは、誰かに助けられて生きている。どんな人でも、他者からのケアを必要とします。人を支える重要なそのケア労働が、もっと社会的に評価され、尊重されるようになってほしいです。

これまで、女性の生き方を問いながら、男性の生きづらさも感じてきました。「男女共同参画」は、キーワードです。労働環境や世の中が変化し、頑張っても先が見通しにくい現状だけれど、若い人が元気で生きられるよう、バトンをつないでいきたいです。昔ほどがむしゃらにはできなくても、少しでも生きやすい世の中へと、大切なことは言い続けたいです。

みなさん、周りの人を大切に、楽しいことをエネルギーに、心豊かな日々を過ごしてください。

ミシン経験ゼロ  
だったんですよ！  
今では、ちよっと  
アレンジした作品にも  
挑戦しています。

リバー物を  
リフォームした  
ブルのジャケット



## ◆ 見つけた「彼女らしさ」 ◆

ご自身で和服をリフォームしたドレス姿がオシャレな内橋さん。自宅で寺子屋を開いたり、桔梗が丘中学校の「桔望ルーム」で生活支援ボランティアをされたりとご活躍。体操や高校の数学講座などのYouTubeを活用し、身体も頭も鍛えていらっしゃるとのこと。人々の生きやすさを求める活動と、自分自身のブラッシュアップを続ける「前向き力」に、内橋さん「らしさ」を見つけました。